



広島三育学院の教育理念と3つのポリシー

広島三育学院大和小学校・中学校・高等学校の教育理念

「人の中に創造主のみかたちを回復するという使命に従い、身体性、精神性、霊性、社会性の調和ある開発を行い、与えられた生涯の全期間にわたって、神に仕え人に奉仕する人物となることを目標とする。」

広島三育学院大和小学校・中学校・高等学校のスクール・モットー

「All in Christ : 全てキリストにあって」

中心聖句

「わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えてくださったのである。」 エペソ 2 : 10



広島三育学院の教育理念と3つのポリシー

広島三育学院中学校・高等学校の3つのポリシー（教育方針）

1. アドミッション・ポリシー（求める生徒像に関する方針）

広島三育学院は、三育の教育理念に基づき、中高一貫6年間、または3年間を通して全人的回復（神の御像の回復）を目指し、日本だけでなく世界で人の幸福のために生きる人を目指す生徒を求める。

以下の資質を備えている生徒を求める。

1. 聖書に興味を持ち、学ぶ意欲のある者
2. 探求心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけようと願う者
3. 寮生活を通して、自立心と他者と協力して生活する姿勢を身に付けたいと願う者
4. 健康的な生活を心掛け、基本的な生活習慣を身につけることを目指す者
5. 学校や寮のルールを遵守することを誓い、学校生活や寮生活を通して規律について学び、自己の中に正しい自制心を養うことを目指す者



広島三育学院の教育理念と3つのポリシー

広島三育学院中学校・高等学校の3つのポリシー（教育方針）

2. ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）

広島三育学院は、セブンスデー・アドベンチスト教会を母体とした教育機関であり、本校における教育理念のもと、聖書を全ての価値の源としたキリスト教的価値観を十分に理解し、神と人のために生きること献身する生徒に卒業を認定する。

以下の知識、能力、資質を備えている生徒に卒業を認定する。

1. キリストの再臨を持ち望み、他者の救いのために伝道する情熱
2. 安息日を楽しみ聖別する態度
3. 神の恵みを理解し、十字架の愛を他者に伝える熱意と技術
4. 個人的な祈りを大切にすると共に、他者と共に祈り、心から神を賛美し、礼拝する態度
5. 自分の体を神の宮として聖別し、神と人のために喜んで奉仕する態度
6. 聖書を土台とした世界観（価値観）とすべての学び（教科教育、探求活動、性教育、労作教育、諸活動）と経験（奉仕活動、職業体験、弟子訓練）、将来のビジョン（職業観）を統合する能力
7. 熱心に学ぶ態度と共に、他者と対話し協同して学ぶ姿と自ら問いを立て、その解決に向けて主体的に探求し、論理的に自分の考えをまとめる能力
8. 自立心と自制心を持ち、神に心から服従する態度
9. 働くことの価値を理解しており、労働における仕事の段取り、リーダーシップとフォロワーシップ（協働性）、効率性についての経験と知識
10. キリストとサタンとの大争闘の世界観における人間の状態と神の救済の計画の理解



広島三育学院の教育理念と3つのポリシー

広島三育学院中学校・高等学校の3つのポリシー（教育方針）

3. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成と実施に関する方針）

広島三育学院では、ディプロマ・ポリシーの達成のために、全ての教育活動の土台に聖書の世界観を据え、キリスト教教育（アドベンチスト教育）：信仰と学び、経験の統合（IFLL：The Integration of Faith, Learning and Life）を方針の柱とする。

*「全ての教育活動」とは、一般的に言われる教科教育や教科外活動に合わせて、寮教育、労作教育、性教育、平和教育も本校の教育活動の特色とする。

主に以下のカリキュラムを編成する。

1. すべての学びの土台に聖書の世界観を据え、信仰と学び、経験の統合を促進するために、すべての教育活動（授業、寮教育、労作活動、部活動、音楽活動、性教育）においてIFLL（信仰と学び、経験の統合）の手法を用いる
2. あらゆる行事の基礎を聖書の価値観と統合し、行事を生徒がキリストの弟子としての生きる実践の場として提供する
3. 聖書に基づいた安息日に対する正しい認識が出来るように、礼拝を含めた安息日プログラムを全生徒に提供する
4. 母体教会であるセブンスデー・アドベンチスト教会と提携して信仰の実践や奉仕の機会を提供する。また、教会及び教会事業機関での職業体験や奉仕の機会を提供し、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を養うと共に奉仕する喜びを体験できるようにする
5. 世界中に広がるアドベンチスト教育ネットワークを用いた国際教育・体験を提供しつつ、日本国内外で活用できる英語力を育むカリキュラムを提供する
6. 自ら問いを立て、検証し、自分の考えを論理的に組み立てる能力を開発するために、6年間一貫の研究（聖書を基盤として探し求める「探求の



学び」) 活動を設定する

7. 寮は生活寮ではなく教育寮としての役割があり、信仰と生活の統合を目指し、毎朝毎夕の礼拝、部屋検査、役員による寮運営など自立心と他者と協力する姿勢を育むカリキュラムを提供する
8. 労作教育を通して、健康的に逞しく働く体力を養い、リーダーシップ、仕事の効率性や勤勉さを養う。また、様々な実際の作業を通して、他者と協働する喜びとその姿勢を養う